

平成26年度 支部活動報告

神奈川県支部「新春何でもしゃべろう会」を開催しました。

□開催日 平成27年1月24日(土)

□参加人数60名(44世帯)

□内容

9:00 集合 東神奈川駅

ヘボン博士の足跡を訪ねて神奈川宿から横浜居留地まで散策

9:10～11:00 ガイドさんと幕末の史跡 散策

11:10～11:45 シーバス乗船 横浜駅東口シーバス乗り場～山下公園

11:50～13:00 散策 山下公園－ヘボン邸跡39番－中華街

13:00～15:30 中華街 華勝楼にて昼食及び何でもしゃべろう会開催

ガイドは、神奈川区いまむかしガイドの会の皆様にお願ひしました。



東神奈川 宗興寺にあるヘボン博士施療所跡

□報告

ヘボン式ローマ字で知られるヘボン医師は、安政6年(1859年 開港の年)に来日し、明治25年(1892年)にアメリカに帰国するまで、医者として和英辞書の作成、聖書の和訳など近代日本の発展に尽くされました。横浜山手に移り住んだ後は(明治15年～)明治学院設立や指路教会の設立に尽力されました。またクララ夫人は英学塾に女子部を設けました。その後、この女子部がフェリス女学院に発展しました。その足跡を訪ね、業績を偲びました。

(参考 神奈川区いまむかしガイドの会資料)



神奈川県には浦島伝説があります。龍宮より帰った浦島太郎でしたが、時間が経ち里人に知る人もなく、神奈川の浜辺より再度亀に乗り龍宮に戻ったとのことでした。



横浜東口から山下公園まではシーバスに乗船。シーバスとは帷子川河口の淡水と海水域を行き来していることから、魚のスズキの意味である「SEA BASS」だそうです。目線が水面と同じで、いつもとは違った横浜港が楽しめました。



ヘボン邸跡（横浜居留地39番）

文久2年（1862年）それまでの成佛寺からここに住居と施療所を移しました。ここでは英学塾も開校しました。



横浜中華街 華勝楼での昼食。華勝楼は、中国京蘇料理で有名なお店です。

佐藤支部長のご挨拶の後、盛大な「何でもしゃべろう会」となりました。初対面の皆様が多い会とは思えないほどの賑やかさでした。ご参加いただきました皆様に感謝いたします。



こうよう会神奈川県支部では、今後ともご父母の皆様の交流の場を企画してまいります。ご子女の学校生活、学業、就職などいろいろな話題を肴に楽しいひと時を過ごす場として、皆様のご参加をお待ちしております。